

1 2013年度の事業総括

	事業	内容
成果	暮らし	ご利用者より「きずなが大好き！きずなにいきたい！」といった声を頂きます。しかしその反面、馴染みの方々との関係を断ち切るのではないかと…ご本人・ご家族と話し合いを繰り返し行い、ふれあい食事会など場と地域交流の切り離さない実践が行えた。また、馴染みの友人との関係を断ち切るのではなく、日常の暮らしを継続する実践へ取り組めた。
	業務	ご利用者の思いある暮らしをご本人と共に考える視点から、センター方式C-1-2・ライフサポートワーク様式導入を行なった。
	人材育成	継続し大領との合同研修計画を立案、実施を行った。予定していた研修は全て実施する事ができた。実践を通し、新人職員さんの成長が目に見える。また、職員の実践間での協働の意識向上が見え、偏りが見られていた職員負担分散が行えてきている。
課題	暮らし	ご利用者の暮らしを考えた際に、地域密着型事業らしい、今までの関係の継続へのアプローチ強化が必要と考える。家族と共に・地域と共に。今年度家族会などの機会を設けられなかった。来年度は、家族会の開催を行っていく。
	業務	ご利用者の状態変化及び計画見直し時において、センター方式及びライフサポートワークの見直しは行うものの、暮らしと共にの書式活用までには至らなかった。勉強会の機会などを設け、理解を深めていく必要性がある。
	人材育成	外部研修で得てきたことを自部門において返せていない事が多々ある。自己学習の為だけに終わらず、チーム内での共有による機会の確保及び発信の強化を目指していきたい。
	環境	ハード面ソフト面と業務に捉われるのではなく、何を大切にすることをしっかりと捉える必要性を感じる。一人ひとりご利用者にとっての生活・暮らしの場についての深めを繋げ、暮らしの実践へのシフトチェンジ。

2 2014年度の事業目標

主課題	生活の視点を暮らしに繋げる！共に生き暮らして笑顔を！
項目	内容
品質向上	生活とは何なのかをしっかりと捉え、全てが事業所管理ではなく、ご利用者一人ひとりの一場面一場面の想いを大切にしたい暮らしの支援を目指す。
介護・支援内容	ケース会議・検討会実施により支援内容を充実していく。また、ケアプラン・ライフサポートワークの見直し作成、職員間での共有実施、モニタリングの継続実施により、チームケア及びチーム力の向上を目指す。
人材育成	リーダー的役割職員の育成(視点向上・実践者としての深めと幅の拡大)
品質向上	前年度まで食事形態を業務委託していた。生活の中での食事を考えた際に、食べるだけでなく感じる・考える→買物→準備→作る→食べる→片付ける 生活音一つをとってもこれらの事を通して人に与える因子は、非常に大きいと考える。これらの事からも、食事(生活・暮らし)の視点向上と共に見直しを行っていく。また同時に、研修などを通し、衛生面・感染などへの意識向上及び予防を行っていく。

3 月別事業計画

月	事業・行事等	会議	研修計画(内部・外部)
4	特養合同造幣局花見 きずな花見会	地域運営推進会議 常勤会議	
5	きずな7周年記念	市老連会議・事業所連絡会 全体会議	
6	きずな春の遠足	地域運営推進会議 常勤会議	
7	七夕 さくら班合同企画	市老連会議・事業所連絡会 地域運営推進会議	
8	サマーカーニバル	常勤会議	
9		市老連会議・事業所連絡会	
10	デイ合同運動会	地域運営推進会議	
11	きずな秋の遠足	市老連会議・事業所連絡会	
12	きずなクリスマス会 きずな利用者忘年会&家族会	常勤会議	
1	新年の挨拶・鏡開き・新春のつどい	市老連会議・事業所連絡会 地域運営推進会議・全体会議	
2	節分・あびこ観音へ行こう 住吉小学校料理教室	常勤会議	
3	ふらっと楽しむ住吉	市老連会議・事業所連絡会 地域運営推進会議・全体会議	